

令和元年度

袋井市森町広域行政組合会計
歳入歳出決算審査意見書

袋井市森町広域行政組合監査委員

写

袋広行組監第8号

令和2年8月20日

袋井市森町広域行政組合

管理者 袋井市長 原 田 英 之 様

袋井市森町広域行政組合

監査委員 鈴木 英 司

監査委員 大庭 通 嘉

令和元年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和元年度袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の種類 -----	4
2 審査の対象 -----	4
3 審査の着眼点 -----	4
4 審査の主な実施内容 -----	4
5 審査の実施場所及び日程 -----	4
6 審査の結果 -----	4
7 決算の概要 -----	5
(1) 歳 入 -----	5
(2) 歳 出 -----	5
8 実質収支に関する調書 -----	6
9 財産に関する調書 -----	6
10 基金運用状況調書 -----	8
11 まとめ -----	8

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」 …… 該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
 - 「—」 …… 該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
 - 「△」 …… 対比又は比較等がマイナスとなったもの
 - 「皆増」 …… 前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」 …… 本年度に数値がなく全額減少したもの

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和元年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

袋井市森町広域行政組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、袋井市森町広域行政組合管理者から提出された令和元年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市監査委員事務局
- (2) 令和2年7月15日

6 審査の結果

審査に付された令和元年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和元年度					平成30年度 収入済額 (D)	増減額 (C)-(D)	前年度 対比 (C)/(D)
	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	執行率 (C)/(A)	構成比			
1 分担金及び 負担金	3,500,673	3,499,352	3,499,352	100.0	64.5	2,911,849	587,503	120.2
2 使用料及び 手数料	202,322	208,595	208,595	103.1	3.8	203,908	4,687	102.3
3 県支出金	12,416	12,307	12,307	99.1	0.2	10,000	2,307	123.1
4 財産収入	529	1,158	1,158	218.8	0.0	1,453	△ 295	79.7
5 寄附金	1	185	185	18,500.0	0.0	0	185	皆増
6 繰入金	85,000	85,000	85,000	100.0	1.6	8,117	76,883	1,047.2
7 繰越金	45,567	45,568	45,568	100.0	0.8	25,497	20,071	178.7
8 諸収入	29,992	32,147	32,147	107.2	0.6	31,131	1,016	103.3
9 組合債	1,544,700	1,544,700	1,544,700	100.0	28.5	824,000	720,700	187.5
合計	5,421,200	5,429,011	5,429,011	100.1	100	4,015,955	1,413,056	135.2

歳入決算額は、予算現額5,421,200千円に対し、収入済額5,429,011千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、100.1%(前年度97.6%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると1,413,056千円(35.2%)の増加となり、構成比は、分担金及び負担金64.5%、組合債28.5%、使用料及び手数料3.8%の順となっている。

市町別分担金及び負担金調書

(単位:千円)

市町別	共通費分担金	衛生費分担金	消防費分担金	消防費負担金	合計
袋井市	31,725	1,108,384	1,097,886	682,690	2,920,685
森町	6,654	239,812	320,388	11,813	578,667
合計	38,379	1,348,196	1,418,274	694,503	3,499,352

(2) 歳出

(単位:千円、%)

区分 款	令和元年度						平成30年度 支出済額 (E)	増減額 (B)-(E)	前年度 対比 (B)/(E)
	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (D)	執行率 (B)/(A)	構成比			
1 議会費	611	531	0	80	86.9	0.0	526	5	101.0
2 総務費	37,876	35,924	0	1,952	94.8	0.7	37,931	△ 2,007	94.7
3 衛生費	1,367,698	1,365,434	0	2,264	99.8	25.3	1,308,824	56,610	104.3
4 消防費	3,465,760	3,449,925	0	15,835	99.5	64.0	2,089,780	1,360,145	165.1
5 公債費	537,853	536,895	0	958	99.8	10.0	533,325	3,570	100.7
6 予備費	11,402	0	0	11,402	0.0	0.0	0	0	—
合計	5,421,200	5,388,709	0	32,491	99.4	100	3,970,387	1,418,322	135.7

歳出決算額は、予算現額5,421,200千円に対し、支出済額5,388,709千円、不用額32,491千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、99.4%(前年度96.5%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると1,418,322千円(35.7%)の増加となり、構成比は、消防費64.0%、衛生費25.3%、公債費10.0%の順となっている。

8 実質収支に関する調書

令和元年度決算においては、歳入総額5,429,011千円、歳出総額5,388,709千円、歳入歳出差引額は40,302千円が実質収支額となっている。

9 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土地(地積)			建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高
火葬施設	36,140.56	0.00	36,140.56	1,448.18	0.00	1,448.18
ごみ処理施設	74,386.33	0.00	74,386.33	7,796.88	0.00	7,796.88
下流水路管理道路	980.94	0.00	980.94	—	—	—
し尿処理施設	31,282.45	0.00	31,282.45	4,852.49	0.00	4,852.49
搬入路	2.81	0.00	2.81	—	—	—
袋井消防本部(新庁舎)	4,098.21	0.00	4,098.21	—	4,099.74	4,099.74
消防庁舎駐輪場	—	—	—	—	9.52	9.52
車庫備蓄倉庫棟	—	—	—	—	167.79	167.79
総合訓練塔	—	—	—	—	324.00	324.00
消防訓練塔	—	—	—	—	192.00	192.00
袋井消防本部(旧庁舎)	—	—	—	1,214.55	0.00	1,214.55
袋井消防署浅羽分署	—	—	—	734.52	0.00	734.52
袋井消防署山梨分遣所	—	—	—	509.25	0.00	509.25
袋井消防署森分署	—	—	—	952.34	0.00	952.34
合 計	146,891.30	0.00	146,891.30	17,508.21	4,793.05	22,301.26

イ 工作物

(単位:㎡)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理施設調整池下流水路柵渠及び管理道路	1,265.00	0.00	1,265.00
旧消防訓練塔	A 塔	250.00	250.00
	B 塔	120.00	120.00
合 計	1,635.00	0.00	1,635.00

(2) 物 品

ア 事務局

(単位:台)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽四自動車	1	0	1

イ 施 設

(単位:台)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽トラック	1	0	1
ダンプカー	1	0	1
普通自動車	1	0	1
軽四自動車	1	0	1
フォークリフト	2	0	2
ホイールローダー	1	0	1

ウ 消 防

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
無 線 基 地 局	1 台	0 台	1 台
可 搬 ポ ン プ	6 台	△ 1 台	5 台
救 急 車	5 台	△ 1 1 台	5 台
指 令 車	1 台	△ 1 1 台	1 台
連 絡 車	3 台	0 台	3 台
査 察 車	1 台	0 台	1 台
広 報 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 支 援 車	1 台	0 台	1 台
支 援 車(マイクロバス)	1 台	0 台	1 台
消 防 ポ ン プ 車	3 台	0 台	3 台
救 助 工 作 車	1 台	0 台	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4 台	0 台	4 台
化 学 消 防 自 動 車	1 台	0 台	1 台
小 型 は し ご 付 消 防 ポ ン プ 車	1 台	0 台	1 台
水 防 車	1 台	0 台	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車(予備車)	1 台	△ 1 台	0 台
救 命 ボ ー ト	4 艘	△ 1 艘	3 艘

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
非常用電源装置	4 台	1 台	5 台
自動体外式除細動器	11 台	0 台	11 台
高度救急シミュレーター	1 式	0 式	1 式
エアーテント	5 式	0 式	5 式

(3) 債 権 無 し

(4) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財政調整基金	299,948	△ 67,501	232,447
消防職員退職手当基金	42,898	10,000	52,899
合 計	342,846	△ 57,500	285,346

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
財政調整基金	299,948	17,499	85,000	232,447	新規積立額 17,498 利子積立額 1 基金取崩額 85,000
消防職員退職手当基金	42,898	10,000	0	52,899	新規積立額 10,000 利子積立額 0 基金取崩額 0
合 計	342,846	27,500	85,000	285,346	新規積立額 27,498 利子積立額 1 基金取崩額 85,000

11 まとめ

老朽化が進んでいる施設については、定期的かつ計画的な点検、修繕を実施し、施設の維持管理と環境整備に努められたい。

中遠クリーンセンターについては、ごみの搬入量が年々増加している。搬入量の増加は環境負荷やごみ処理コストのみならず、施設にも影響を及ぼすことから、構成市町と連携し、ごみ減量の推進に積極的に取り組まれたい。

消防業務については、令和2年4月の新消防庁舎の開署に向け整備が進められ、令和2年3月に仮運用を開始することができた。今後とも、地域住民の安心・安全を守るため、新しい施設や環境を有効に活用し、業務に当たられたい。

また、令和2年に入り、広がりを見せている新型コロナウイルス感染症に対し、救急隊活動に必要な感染防止資機材の確保及び救急隊員の感染防止対応の徹底に努められたい。

加えて、洪水災害等における水難救助活動では、広範囲に複数の救助事案が発生するため、隊員が安全かつ効果的な救助活動を行うことができる資機材の確保及び救助技術の向上に努められたい。